



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題 (2013-2014)

- 国際協会会長(IP) Poul V. Thomsen (デンマーク)
"Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
スローガン "Extension, Extension, Extension"
「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (大阪土佐掘)
"Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
スローガン "One Asia One world" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 高瀬 稔彦 (岩国みなみ)
"Attend clubs meeting with a clear motive to make the most of them"
「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう」
スローガン "Your experience makes you a good Y's man"
「経験がワイズを育みます」
- 六甲部部長(DG) 山田 滋己 (神戸ポート)
『さらなる交流、さらなる国際、さらに活発な六甲部へ』
副題 《1つ1つの楽しい活動を原点にして》
- 西宮クラブ会長(CP) 堤 一幸
『65周年に感謝、そして新しい大きな第一歩を踏み出そう!』
"Let's start our new big first step and thanks, to 65years!"
- ★ 2014年4月 西日本区強調ポイント "YMCA サービス ASF"
正野 忠之 Yサ・ユース事業主任 (大阪河内クラブ)
「YMCA、ユースとの1年を総括し、次年度に活かしましょう。」

2014年4月第792号
《67期10号》
Since 5.17.1948

スポンサークラブ
・大阪クラブ
DBC 締結(2007)
・近江八幡クラブ
・広島クラブ

クラブ主役員

会長 堤 一幸
副会長 山口 政紀
直前会長 長井 慎吾
書記 馬場 一郎
書記 廣瀬 一雄
会計 山本 常雄
会計 山口 吉郎
監事 岩田 健司
担当主事 宗行 孝之介
部 EMC 主査 小野 勅統

今月の聖句 (選者 堤 一幸)

あなたの行く所どこにおいても、主(神)を認めよ。 そうすれば、主(神)はあなたの道をまっすぐにされる。
(箴言3章16節)

2014年4月

第一例会(職員歓迎会)のご案内

日時 4月11日(金) 19時~21時

会場: 華厨香西宮店

ドライバー: 山口政紀メン、石井恭子メン

1. 開会点鐘 堤会長
2. ワイズソング・聖句朗読 一同
3. ゲスト・ビジターの紹介 堤会長
4. ゲスト挨拶 新任職員
5. お誕生日のお祝い
6. Y'S ニュース・YMCA ニュース
堤会長・宗行館長
7. 閉会点鐘 ※BF

3月例会出席状況

第1例会(3/14 金)
メン・ウィメン18名
メネット・コメット 1名
ゲスト・ビジター 3名
合計22名 MU 3名
在籍数 21名
(出席率 91.3%)

第2例会(3/28 金)
メン・ウィメン 14名
メネット・コメット 0名
ゲスト・ビジター 0名
合計 14名
(累計出席率 93.7%)

【お誕生日】濱 浩一メン(4/10), 丸山 悦治メン(4/12),
三島 浩司メン(4/22), 足立 完子メネット(4/24)

【ファンド・BF 累計】3月

ニコニコファンド 4000p 累計 26000p
Brotherhood Fund (目標 345\$) 5400p 累計 32100p
BF 使用済み切手 (前期 189 0g 累計 1,070g
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥3600 累計 ¥20800

我らのモットー: To acknowledge the duty that accompanies every right !
(強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う)

【4月の予定】

11日(金) 第一例会(職員歓迎会)
25日(金) 第二例会

【5月の予定】

9日(金) 第一例会
23日(金) 第二例会

【会長メッセージ】

会長 堤 一幸



私達西宮ワイズメンズクラブは、『2014年1月より、「第一例会日が第二金曜日、第二例会が第四金曜日」に変更になっています。』お間違いなきよう、お集まり下さい。

あっ！という間に月末ですね。それも年度末です・・・。

先月3月例会において、神戸市社協の藤田裕さんをお招きして「地域」の持つ意味(意義)をお聞きしました。私はご存知のように現在は「西宮ワイズメンズクラブ会長」の任を仰せつかっていますが、数月後には『ワイズメンズクラブ六甲部「地域」奉仕環境事業主査』の大役を任せられます。日ごろから「YMCAのある現場にワイズメンズクラブがある」、「ワイズメンズクラブのある現場にYMCAがある」ということを考えさせられています。これは「ワイズメンズクラブの活動する現場は地域」だと捉えていいのではないのでしょうか？また、人それぞれにも「現場」を持って生活しています。それは「職場、家庭、恋愛、地域・・・」そして「ワイズメンズクラブ」もその一つに数えてもいいと思います。

さて、3月例会の開会点鐘の際に、「砂の上にはいつも23人分の足跡があったが、ある時その足跡が一人分無くなった」というたとえ話をさせられました。その後、「ある方から確かに誰かが無くなった一人を背負ったかもしれないが、背負った分だけ砂が深く掘られていないか？」との応答を頂きました。

しかし、私は、一人だけが深く掘られたとは考えていません。背負った皆さんが「バランス良く」背負って歩み続けていると思います。もうすぐこの旅も終わろうとしています。そこでは新しい旅が用意されています。皆さん、時には泣き笑いがあるかもしれませんが、一緒に楽しみながら歩みを続けようではありませんか？

【例会報告】

ドライバー 西山茂夫メン 馬場一郎メン
日時:2014年3月14日(金)19:00~21:00

場所:西宮YMCA保育園3階ホール

出席者:浅野メン、石井メン、岩田メン、岡田メン、小野メン、阪根メン、堤メン、長井メン、西山メン、馬場一郎メン、濱メン、濱崎メン、廣瀬メン、藤原ウイメン、三島メン、宗行メン、山口政紀メン・メネット、山本メン、

ゲスト:遠藤通寛メン(大阪泉北クラブ)、正野忠之メン(大阪河内クラブ)、真下 謙さん、飯田 亮リーダー

スピーカー:藤田 裕さん

ゲストに遠藤通寛メン(2015-16期西日本区理事候補、大阪泉北クラブ)、正野忠之メン(2015-16西日本区書記候補、大阪河内クラブ)と真下謙さん(賀川記念館主任)をお迎えして3月例会がもたれました。今回は社会福祉法人神戸市西区社会福祉協議会主幹の藤田 裕さんをお迎えして、地域福祉についてのお話をお伺いしました。藤田さんは現在東部地域委員会の委員長、社会福祉法人神戸YMCA 福祉会評議員であり、学生時代三宮、沼島のリーダーをされていた方です。地域福祉ネットワークとして西区に配属され、その地域の課題、とりわけ制度の狭間になっている既存のサービスでは解決できない課題に取り組まれています。

実際の事例をお聞きする中で、ひとり一人に向き合い、地域の方々と協力し、大変な課題を解決していく過程をお聞きすることができました。地域社会に取り残された方が、助けを求めておられるんだということを知り、その解決に向けて地域にネットワークをつくり、解決に向けて進めていくその手法に感銘を受けました。YMCA やワイズの活動の参考になることがたくさん含まれていたと思います。特に西宮ワイズとして、東日本の支援も含め、さまざまな課題にどのように向き合っていけばよいかを考えさせられました。

藤田さん、ありがとうございました。またの機会にお話が聞けたら嬉しいです。また西宮クラブにお顔を

出してください。よろしく願います。

その後飯田 亮リーダーより23日に行われる西宮YMCAファミリープログラムの説明が行われ、万本メン、藤原ハズバンド、長井メンのお誕生日をお祝いし、ワイズニュース、YMCA ニュースを聞き、閉会となりました。

【交換ブリテンご挨拶】

広島クラブ会長 片岡 功

初めまして、広島クラブ会長の片岡です。

交換ブリテン開始早々の広島クラブ1番打者の私が原稿提出遅延、安田書記他3クラブの皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこと紙面を借りて深くお詫びします。

会長の任に就いて早や7ヶ月が経ちました。EMC事業通信を見ますと、びわ湖部・六甲部ともメンバーが増えている中、未だ新入会者ゼロの広島クラブ会長としては正直焦っております。

我がクラブ所属の西中国部は、1月24日(土)に為國光俊 EMC 事業主任を招いて100人委員会を発足し各クラブ連携しての効果的なEMC活動の推進がスタートしました。

手取り早いクラブ会員増強策は、私が罹った罠“例会の食事に三度誘って騙して入会してもらおう”が頭から離れませんが一時しのぎに過ぎず、為國主査のお話の通り、ビジョンを掲げて会費に見合う元気で楽しい魅力あるクラブ(商品)作りがやはり一番大事なのではと考えます。

会員一人ひとりが価格(会費)以上に魅力ある自信の持てる商品(クラブ)作りに日々参加し、全員が営業マンになって販売(勧誘)出来る環境作りに残された期間努力しようと考えております。

すでに近江八幡・西宮クラブは委員会組織で各事業を運営されていることと推察しますが、今年度、我がクラブも西日本区に準じた3名~4名のEMC他6事業委員会をクラブ内に設置して、参加意識の向上を図り26名の会員の更なるワイズ理解・親睦・相互理解が深まりつつあることを感じる昨今です。

先のEMC通信で拝見しました、小野勅紘(西宮クラブ)六甲部EMC主査手作りの魅力的なEMC集計表作成に大変興味を持ちました。効果・作成法等西日本区大会の折にでもお話を伺えたらと思っております。

前回、1994年~1995年の岡本尚男理事(当時は東西西日本区の区分なし)の年度に、六甲研修センターでの次期会長研修会に一人心細く行きました。

事前に広島クラブ先輩からはDBC締結クラブの近江八幡クラブ会長(松原基夫メン)と西宮クラブ会長(岡田佑一郎メン)には必ず挨拶しておくようにと申し渡されての参加でした。

DBCの縁で、研修会では互いのクラブ運営のありのままの実情を語りや不安を分かち合うことができたお蔭で1年間の会長職への意気込みと勇気を頂いたことを思い出します。

そして、半年が過ぎた矢先に阪神大震災が起こりました。当時は日本区キャビネットからの通信連絡手段はすべてFAXで、被害状況、支援物資品目の提供要請・持ち込み手段・交通状況等が1日に十枚以上流れてきました。神戸に近い京阪神・京滋のクラブの支援活動は迅速でしたが、広島クラブからも皆様から提供頂いたトラック一杯の支援物資を故松本胤之メンに姫路まで運んで頂いたことも記憶に鮮明に残っております。

西宮クラブのメンバーの方々が私の想像を絶する震災被害体験と生活基盤整備が崩壊した中、ご苦勞をされワイズの火を消すことなく今日まで灯し続けられていることに只々敬意の念を持っております。

今日までに何度となく3クラブDBC交流会が持たれましたが、いずれの交流会も参加する度に、あらためてDBCを締結・継続されてこられた諸先輩ならびに現メンバーの方々に感謝する次第です。

6月14日~15日の岩国での西日本区大会でも、DBC交流会が計画されておりますが

3クラブの更なる交流と親睦が深まることを切に望んでおります。

【YMCA ニュース】

宗行 孝之介メン



まもなく2013年度もおかげさまで無事終了とゆきたいところですが、これを書いている時点では春のスキーキャンプが終わっていませんのでまだ「お疲れ様！」とはなりません。さて、先日の卒業リーダー感謝会はルーテル教会市原先生の司式で3月6日に行われ、多数の参加者を得て行われました。特に西宮クラブからは堤会長、小野メン、宝塚クラブから多胡、長尾、青柳メンが駆けつけてくださいました。本当にありがとうございました。卒業後の道は会社員、保育士、幼稚園教諭、小学校教員、客室乗務員と多岐に渡りますが彼らの行く末に神様のお恵みが豊かに注がれますようお祈りください。

また、3月21日には東日本大震災復興支援募金を夙川駅前にて行いました。これも別途報告があるか

もしれませんが、ワイズメン、西宮リーダー、震災リーダーとスタッフ総勢 14 名でちょっと震まじりでしたが合計 42,359 円の募金をいただきました。やはり夙川は震災経験のある方々が多いのか、みなさん協力的な方が多く本当に感謝しながらの活動でした。また、奉仕者も 10 代のリーダーから 70 代のワイズまで老若男女が一緒になっての活動は(冒頭にワイズの方々はもともと君たちの先輩なんだよとリーダー諸君に説明すると驚いていましたが)まさしくYMCAらしい雰囲気でも楽しく参加させてもらいました。

さて、年度末ということで、今年度も職員の異動・退職があります。長らくサポートプログラム担当していました野村祥吾主事は退職となり、4 月からは公務員として働かれます。村上弘主事も退職し、ふるさと京都でお母様と同居し、福祉の仕事をはじめられます。転入してくるのは西神戸YMCAで勤務しておりました柳原謙介、上田紫織が新入となります。また改めてみなさまにご紹介いたします。4 月からまた新体制で更なる前進をしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【リーダー会便り】

西宮 YMCA リーダー 3 回生 榎田小百合

今年度の子どもたちとの活動も無事終えることができました。これもひとえにワイズメンズクラブの皆様のご支援・ご協力あつてのことと心より感謝しております。

さて、先日各セクションの今年度最後の例会がありました。野外活動キッズは、風吹岩ロックガーデンに行きました。自分の体より大きな岩を全力でのぼっている姿や、メンバー同士「がんばれ！」と声をかけ合う姿に、子どもたちの成長を感じました。

また、ジュニアは、美方高原自然の家でファイナルキャンプを行いました。かまくら作りや、雪で作った天然の滑り台、リーダーとの雪合戦など 2 日間たっぷり遊び、子どもたちにとってもリーダーにとっても心に残る最高のキャンプになりました。

そして、シニアは、3 分の 1 ずつ行った六甲山全山縦走の最終パートを歩きました。全 15km 弱、六甲山頂まで登りそこから宝塚まで歩くという、小学生にはなかなか大変なコースでしたが、全員が最後まで歩き切ることができました。地図を広げ、ときにはリーダーの助言も得ながら仲間と協力してゴールした達成感は、何物にも代え難いものだったと思えます。

感謝礼拝も終わり、4 回生は YMCA リーダーを卒

業。春には新しいリーダーが入ってきます。リーダーの顔ぶれは少し変わりますが、メンバーへの想い、活動への真剣さはそのままに、さらにパワフルなリーダー会になるよう、努力していきたいと思えます。

今後とも変わらぬご厚誼とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。